

令和7年度「創意と活力」のある学校づくり推進事業報告

春日井市立南城中学校

事業テーマ	楽しい「楽校」づくり	
取組の目的	<p>生徒にとっても教員にとっても、学校は楽しい場所であることが望ましい。しかし、毎年様々な理由で不登校になっている生徒が一定数おり、また、学校に来ることができていても、人間関係がうまくいかなかったり、学習につまずいたりして悩みを抱えている生徒も多にいる。</p> <p>本取組を通して、人間関係づくりを基盤に、生徒も教員も安心して過ごせる、楽しい「楽校」をつくっていきたい。</p>	
区分 (○印を付ける)	○新規事業・継続事業 (総事業年数 3年間、1年目)	
事業名	事業内容	実施時期
<ul style="list-style-type: none"> ・体・心・いのちの学習の充実 ・特別支援教育の理解向上 ・「S&S」の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・JCCA 認定マスタートレーナー岡田康邦氏による姿勢改善講話 ・春日井市福祉協議会地域活動支援課、個人ボランティア小島怜氏による講話 ・生徒みんなで楽しく昼休みを過ごせるようにする。 	<p>11月</p> <p>12月</p> <p>通年</p>



11月21日(金)に学年ごとに学校保健委員会を行いました。はじめは教室で保健委員による保健アンケートの結果と考察の発表を行いました。その後、JCCA認定マスタートレーナーの岡田康邦氏による成長期における姿勢改善の重要性をテーマにした講話と、ひこうき体操、チーター体操などのコアキッズ体操を行いました。生徒は笑顔でエクササイズを行うことができました。

福祉体験学習



12月3日（水）に特別支援学級の生徒を対象に福祉体験学習を行いました。春日井市福祉協議会地域活動支援課の小島怜氏による講話とピアノ演奏会を行いました。講話では「自分の意見や考えをもって伝える」「聞かれた質問には自分で答える」など生活するうえで皆さんに大切にしてほしいことを話していただき、ピアノ演奏を通じて生徒との距離を縮めていただき、充実した時間を過ごすことができました。

S & Sの充実



年間を通して生徒会が主体となって、毎日の昼休みにボールやラケットなどの道具を貸し出してみんなでスポーツを楽しむ取組を行っています。スポーツを通して運動場には笑顔があふれ、身体も心もリフレッシュして午後の授業にのぞむことができます。また、自分たちできちんと並んで道具を借りたり返却したりすることもできます。

取組の成果

体・心・いのちの学習の充実は、クロームブックの使用が増えてきたことによる姿勢の崩れや体育等におけるけがを少しでも減らすためにも講義だけではなく、実践をまじえることで姿勢をよくすることのメリットを体験することができました。実践ではゲーム要素も取り入れたり、ペアで協力し合ったりしたので、笑顔で楽しく取組むことができました。

特別支援教育の理解向上は、障がいのある方の現状を知り、自分から関わることで健常者に理解してもらえたり自分の言葉で助けを求めることが大切であることを教えていただきました。また、共生社会の実現に向けて私たちができることのヒントを得ることもできました。生徒は講話を前向きに聞き、ピアノ演奏を通して講師との距離を縮めることができ、楽しい時間を過ごすことができました。

S & Sの充実では、毎日昼休みに生徒会が主体で行っています。休み時間になったら、ボール等の貸し出し係が来るまで、自分たちで列をつくって待つことができているし、終了時間になったら、速やかに片づけを行い、午後の授業に備えることもできています。休み時間に仲間と楽しく笑顔でスポーツを楽しむことができているからこそ、普段から基本的なマナーを守る意識が高いと考えます。

今年度、創意と活力のある学校づくり推進事業で予定していた、みなタイムの推進と自己開示を促す道徳の授業実践は別の推進事業で実践を行いました。みなタイムで生徒のかかわりスキルを高めることができ、それを土台に道徳の授業実践につなげることができました。

学校生活アンケート（年3回実施）では、「学校生活は楽しいですか」という質問に、94%の生徒が「とてもそう思う」「ややそう思う」答えています。また「授業がよく分かりますか」という質問には、91%の生徒が「とてもそう思う」「ややそう思う」と答えています。このことから、多くの生徒が充実した学校生活を送ることができており、本事業を通して生徒も教員も安心して過ごせる楽校づくりができたと考えます。

2年目に向けては、取組を継続するとともに教科指導につなぎ、対話を通した深い学びを実現してより質の高い授業を行い、生徒の目が輝く授業の実現を目指していきます。